

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービスMEGUの家		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 15日		～ 2025年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○従業者評価実施期間	2025年 1月 15日		～ 2025年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・小集団で個に応じた支援を行っている。 集団活動と個別活動(課題)を区別し、児に合わせた療育を行っている。	・集団で行う感覚遊びや粗大運動、個別対応が可能な健康や生活に即した療育など、5領域を意識してそれぞれの内容に応じた支援を行っている。	・特性に応じたチーム分けなどを行い、さらにきめ細かい療育を行ってきたい。
2	・身近な物やなるべく手作りの教材を使って療育を行う為、家庭でも採り入れやすい内容となっている。 活動内容についても、できるだけ保護者と共有し、 <u>できる</u> を自信へつなげていきたい。	・口に入れても安全な物を大きさにも十分配慮して採り入れている。 家庭ではなかなかできない経験を、みんなで楽しく学びを深めることができるよう支援している。	・就学に向けて必要なスキルの獲得が不十分な分野がある場合は、それを保護者や園とも共有し、本人の不安を軽減して自信につなげることができるようスキル獲得の為の支援を強化する。
3	・保育所等訪問を行い、園と連携して情報共有を行う事により支援につなげることができるようにしている。 また、必要に応じて言語訓練を行い、言語によるコミュニケーションを図っていくことができるよう、療育の中にも採り入れることができることは採り入れながら支援を行っている。	・保育所等訪問を行う事で見える細かい困り事等を見極めて事業所での支援につなげることで、園生活をスムーズに行う事ができるようにしている。	・言語訓練の中で、療育の中に採り入れることが可能な内容は積極的に採り入れ、言語によるコミュニケーションがスムーズに行えるようにしている。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・玄関先に階段があり、安全面については慎重にならざるを得ないが、声掛けなどにより怪我や事故につながらないように十分配慮している。	・物理的な問題であり、改善は難しい。	・職員間で連携し、十分に声掛けなどを行っている。 屋内でも、段差や角には怪我防止の為のシールを貼ったりするなど配慮している。
2	・子どもに対する家族の対応力向上のための「ペアレントトレーニング」等や家族が参加できる研修の場の提供及び情報提供が不十分である。	・保護者からの個別相談に対するアドバイスや助言はできているが、保護者全体を対象とした研修や情報提供の取組みはできていない。	・市等とも連携し、研修等の情報提供を行ったり、事業所としても保護者同士の情報交換の場を持つ回数を増やすなどして、子どもに対する家族の対応力向上につなげていく。
3	・保護者の方への非常時等への対応に対する周知・発信が不十分である。 訓練実施後の発信不足。	・防災への取り組み、緊急時の対応も作成し、訓練等も行っているが、周知が不十分である。	・訓練実施後は、連絡帳に記載したり定期的なお便りにて情報提供を行っているが、周知が不十分である為、さらに年間計画としてお便りに明記したり送迎時にお伝えするなどして周知徹底に努めていく。